

# 水痘ワクチン接種が奏功した再発性無疱疹性眼部帯状疱疹の1例

丸本達也<sup>1)</sup>、小野浩一<sup>2)</sup>

1) 丸本眼科、2) 順天堂東京江東高齢者医療センター

## 【目的】

再発を繰り返した無疱疹性眼部帯状疱疹(Zoster Sine Herpete: ZSH)に対し、水痘ワクチン接種が奏功したと思われる症例を報告する。

## 【症例】65歳 女性

主訴: 右球後痛・羞明  
既往歴: 帯状疱疹(右胸部)  
家族歴: 特記すべきことなし  
現病歴: 2008年9月下旬に、2日間続く右眼の球後痛を認め、脳神経外科を受診した。神経学的にも頭部MRIでも異常を認めず、眼科受診を勧められ丸本眼科を受診した。

## 【初診時所見】

眼位・眼球運動: 異常所見なし  
視力: Vd= 1.0 (n.c.)  
Vs= 1.0 (n.c.)  
眼圧: Td= 16mmHg  
Ts= 19mmHg  
細隙灯顕微鏡所見:  
両眼ともに前眼部・中間透光体に異常所見なし  
眼底:  
両眼ともに異常所見なし  
視野所見:  
両眼ともにゴールドマン視野検査で異常所見なし  
理学所見:  
Valleix 圧痛点(図1)の右)眼窩上孔部に強い圧痛を認めた。★

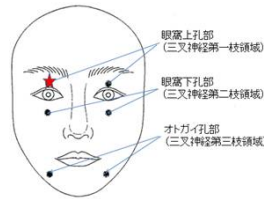


図1: Valleix の3圧痛点



写真1: Valleix圧痛点の眼窩上孔部を押して圧痛の有無を調べている。(本症例とは無関係のモデルで撮影)

血液検査結果:

検査項目	判定
IFN $\gamma$ -ELISPOT (vzv特異的細胞性免疫)	13.5 陰性
VZV抗体価 CF法(倍) (液性免疫)	8 陽性
VZV抗体価 gp-ELISA法(単位) (液性免疫)	6562 陽性
CRP定量(mg/dl)	0 陰性
リンパ球数(個/ $\mu$ l)	1955
白血球数(個/ $\mu$ l)	4600

## 【経過】

Valleix圧痛点に強い圧痛を認め、小児と接する環境でないため、水痘・帯状疱疹ウイルス(Varicella-zoster virus: VZV)によるZSHを疑った。バラシクロビル(250mg) 1×1日、アンクロピル(1500mg) 3×5日投与で、症状は一時的に改善するが、再発を繰り返した。水痘皮内検査(水痘抗原(ピケン))で陰性(0×0mm)であった[写真2]。水痘ワクチン(乾燥弱毒生水痘ワクチン(ピケン))を接種し、一ヶ月後に水痘皮内反応を行ったところ陽転化(13×12mm)した[写真3]。ワクチン接種後、約3年経った現在でも再発を認めていない。

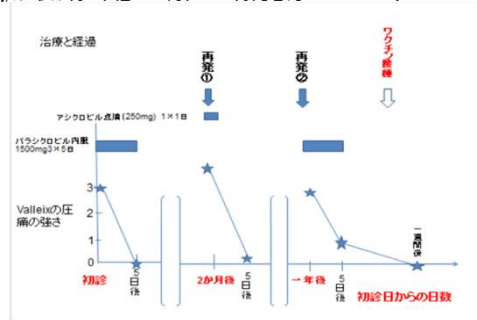


写真2: 水痘ワクチン接種前の水痘皮内反応=陰性



写真3: 水痘ワクチン接種一ヶ月後の水痘皮内反応=陽性

## 【考按】

- ・ZSHはVZVの再活性化が原因で眼深部痛がおこるが、帯状疱疹は出現しない病態である。
- ・VZVの再活性化は、加齢により免疫能が低下した50才以降で、冷え、ストレス、過労、睡眠リズムの乱れなどがトリガーとなり、起こると言われている。
- ・鑑別疾患として下記があげられる。
- ・右記の表から、他の疾患は、鑑別されると思われた。

	CT・MRI所見	眼所見	CRP定量
強膜炎	-	+	±
球後視神経炎	±	+	±
眼筋炎	±	+	+
眼窩蜂巣炎	+	+	+
眼窩腫瘍	+	±	±
副鼻腔炎	+	±	+
ZSH	-	±	-

- ・米国の大規模研究では、水痘ワクチンの接種により、帯状疱疹の罹患率の低下と、帯状疱疹後神経痛の削減に貢献すると報告されており、米国ではすでに高齢者に対する帯状疱疹予防として、水痘ワクチン接種が勧められている。
- ・ZSHもその発症にVZVが関与することから、本ワクチン接種が有効と考えられる。
- ・ZSHには診断基準がなく、今回の症例では、抗ウイルス薬は短期間奏功し、水痘ワクチンは長期間奏功した事実から、結果的にZSHと診断することは、妥当と思われる。

## 【結論】

原因不明の三叉神経痛に対してはZSHを疑い、水痘皮内反応陰性の場合、水痘ワクチン接種が奏功する可能性がある。